



生活クラブ風車 夢風 News



Vol.48

●発行 2016. 6. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田
●発行責任者 半澤彰浩(代表理事) ●編集責任者 西村明子

■2016 年度 発電実績

	発電量 (kWh) 【 前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【 前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	286,904 【 96.7%】	5.6	20.0	10月			
5月	243,884 【 60.3%】	4.3	16.5	11月			
6月				12月			
7月				1月			
8月				2月			
9月				3月			



○風況は、同時期の過去記録と比較して最も低い状況でした。

○不具合による停止はなく順調に稼働しました。

6月1日(水) 15時30分より、第8期社員総会を開催しました。鈴木伸予事務局長から第1号議案として2015年度の決算報告・剰余金処分案について、第2号議案として第9期(2016年度)事業計画と予算(案)について提案があり、満場一致で可決されました。また、生活クラブ神奈川常勤理事の柳下信宏さんが新たに監事に承認されました。

第8期は年間発電量4,555,589kwhの実績となり、計画に対し96.3%となりました。平均風速は5.82m/sで前年比95.4%でした。

～～～第9期の主な計画～～～

☆(株)市民風力発電と連携し、生活クラブ風車による風力発電事業の管理・メンテナンスをきめ細かく行い、発電量4,731,400kwhの達成を目指します。☆発電量低下軽減のため、風の弱い夏季に工事・メンテナンスを計画化するなど、(株)市民風力発電と連携し安定した発電をめざします。☆当法人の母体組織である生活クラブ生協との連携を図ります。

社員総会？社員って何・・・？

生活クラブ東京、神奈川、埼玉、千葉、NPO法人北海道グリーンファンド、(株)市民風力発電の6法人が、グリーンファンド秋田の社員です。

大辞林 第三版によると

「①その会社に雇用され、勤めている人。会社の被用者。会社員。②〔法〕 社団法人・団体の構成員。株式会社の構成員は株主とよばれる。」とあります。一般的には①のほうだと考えがちですよね！ここでは②の意味なので、生活クラブの首都圏4単協などが“社員”なのです。

社員総会は、一般社団法人の最高議決機関で、生活クラブの総代会のような位置づけです。



写真後列左から

(株)市民風力発電 滝本しのぶ、代表理事兼生活クラブ神奈川専務 半澤彰浩、生活クラブ埼玉活動推進部長 須長雅和、生活クラブ千葉常務 山本裕一郎、生活クラブ神奈川前理事長 五十嵐仁美、生活クラブ東京専務 村上彰一、生活クラブ東京常務 林洋一
前列左から

NPO 北海道グリーンファンド理事長 鈴木亨、(株)永立田清嗣、生活クラブ千葉理事 船水香、環境エネルギー政策研究所 主任研究員松原弘直、生活クラブ神奈川理事長 藤田ほのみ、生活クラブ千葉理事長 木村庸子

総会后、事務所前で記念写真・・・と思ったのですがちょっと手狭でした。

無理なポーズにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

■ 自然エネルギーと日本のエネルギー政策について学習会を行いました。 ■

社員総会后、認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所 主任研究員松原弘直氏をお招きして、「世界と日本の自然エネルギーの最新の普及・政策等の状況と日本の課題、そして日本の FIT の改定の方向性と課題」と題して学習会を行いました。

自然エネルギー市場は爆発的な成長を継続しており、21世紀における自然エネルギーは「20世紀における自動車産業」と同じ役割を果たすと見られているそうです。ところが海外が自然エネルギーを推進する中、日本では自然エネルギーの発電量の比率は 10%前後で停滞してきました。しかし、2012年度からスタートした再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)により、特に太陽光発電の導入が 2013 年以降急成長し新規導入量は世界第二位になりました。秋田県は再生可能エネルギーの電力供給自給割合が 31 パーセントと全国第 2 位となっています。市町村別ではにかほ市の自然エネルギーの発電量が 131%と秋田県内でも鹿角市の次に高く、自然エネルギーの豊富な地域であることがわかります。

自然エネルギーにはまだまだ、大きな伸びしろがあることが理解できました。市民が電力会社を選ぶようになった今、自然エネルギーを重視する会社を選んで買うことが本当に大切なことだということを再確認できた学習会でした。

■ 夢風ブランドが消費者の手元に届き始めています。 ■

横浜みなみ生活クラブ生協くらしと環境委員会では5月22日(日)に「電力自由化と日本酒トワイライト」というイベントを開催しました。



当日は生活クラブエナジー代表取締役社長(生活クラブ神奈川専務理事)半澤彰浩さん、NPO法人「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」理事長 川岸卓哉さん グリーンファンド秋田事務局長鈴木伸予さん、株式会社岡永の立田清嗣さんにお話をさせていただき、持続可能なエネルギーを選べるようになったことや、風車夢風があるにかほ市とのつながりで電力だけではなく消費材を取り組めるようになったことをおおぜいで楽しく学びました。

会場になった横浜市中区にあるレストラン「幸せな一皿 洋食の taku」さんにご協力いただき、日本酒「夢風」はもちろん、いちじくの甘露煮や、鱈しよっつるも持ち込んでオリジナル料理を作っていました。

冷たく冷やしてワイングラスで飲む日本酒「夢風」には、あちらこちらから「おいしい」「いい香り!」という声が響き、普段あまりお酒を



飲まないという人も、「これはとてもおいしいので、家族が集まった時にはぜひ飲みたい」と話していました。

また、レストランの看板メニューのオムライスのソースに鱈しよっつるを使った料理や、平田牧場のローストポークにいちじくソースをかけた料理も供され、普段とは違う雰囲気での交流に笑顔

があふれる時間になりました。

夢風ブランド品は6月に「タラーメン醤油味」、7月には「鱈しよっつる」が生活クラブの組合員のもとに届きます。



■グリーンファンド秋田 いろはの い (あらためてグリーンファンド秋田について)



グリーンファンド秋田は、生活クラブ風車「夢風」の事業目的法人です。地域の活性化と地球温暖化への取り組みとして市民参加型による風力発電等の自然エネルギーを活用した次の事業を行っています。

風力発電事業の運営管理、自然エネルギーの普及啓発、省エネルギー推進の普及啓発、メンテナンス業務、自然エネルギーの電源開発など

生活クラブ風車「夢風」は定格出力:1990Kw 1基発電量:473万 kWh(およそ1300世帯分)

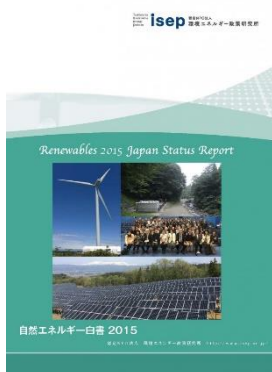
■事務所移転しました。

夢風ニュース Vol. 45でお知らせしましたが、4月25日より日本橋人形町に事務所を移転しました。東京メトロ日比線人形町駅、半蔵門線水天宮前駅、都営浅草線人形町駅いずれからも徒歩数分です。都心にありながら、近くには日本橋小学校があり、窓を開けていると時折子どもたちの声が聞こえて来るほどのぼのとした立地です。また、親子井発祥のお店といわれている老舗や、行列の絶えない焼きやさんも近くにあります。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

(隣のビルの角にある鯨の像。操り人形のバネには鯨の髭が使われていたそうです。江戸時代、人形師や芝居小屋が集まったことからのちに人形町と名付けられたそうです。)



■参考資料のご案内



認定NPO 法人環境エネルギー政策研究所の自然エネルギー白書2015を主任研究員松原弘直氏よりいただきました。グリーンファンド秋田事務所にありますのでご覧ください。ホームページからもダウンロードできます。アドレスはこちらです。<http://www.isep.or.jp/jsr2015>

季刊社会運動2016年4月号(422号)

市民が電気を作る、選ぶ

一冊500円でお分けしています。

グリーンファンド秋田の半澤代表理事も生活クラブの電気の共同購入について記事を書いています。おすすめです。



〈ごあいさつ 新事務局着任しました〉〈編集後記〉

6月より、グリーンファンド秋田事務局になりました西村明子です。今までは生活クラブの組合員としてエネルギーの問題に取り組んできましたが、これからは事務局の立場となり、視点も新たにしていかねばと思っています。

今月から早速夢風ニュースを編集しています。新米事務局目線で、「そこから?！」という記事になりました。夢風ニュースをお読みいただいている方で、「実はこんなところがよくわからない」という事がありましたら是非教えていただけたらと思います。わたしも一緒に、少しずつ学んでいきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。